

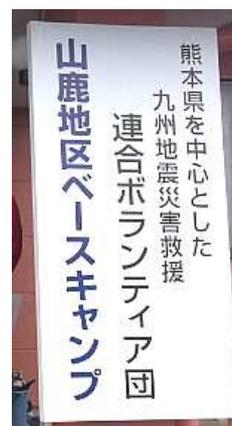
JR連合 熊本復興へ向け活動中！ 「連合ボランティア」イーストが参加！

熊本地震は、4月14日に最大震度7の前振があり、16日未明には本震とされるマグニチュード7.3の大地震が発生しました。その後も、最大震度6弱以上の強い揺れが複数回にわたり熊本・大分両県をはじめ九州各地を襲い、多数の家屋が倒壊し、大規模な土砂崩れによる被害も発生するなど、各地で甚大な被害が生じています。連合はすぐに「対策復旧本部」を立ち上げ、復旧・復興に向けて緊急の対策・取り組みを行っています。



左から高橋中執、同じ班の私鉄総連のお二人と、鈴川さん（お疲れさまでした！）

連合の復興支援ボランティアは5月4日にスタートし、全国の構成組織・地方連合への呼びかけにより、6月末の第9陣まで計画されており、熊本市や益城町などのボランティアセンターを拠点に、グループが、日曜日の団結式から金曜日までという行程で、被災家屋の瓦・ブロック・家具の撤去・運搬や、避難所の清掃などの作業が行われています。



イーストユニオンからは、6月19～25日の第8陣へ、仙台地本の鈴川さんと本部 高橋執行委員の2名がJR連合派遣団として参加しました。支援活動に際しては、この期間に続いた集中豪雨により、宿泊所も避難勧告が出されるなど、多くにわたり困難を余儀なくされましたが、この活動に自ら参加を申し出され、無事に任務を終えて仙台へ戻られた鈴川さんからは、「東日本大震災の際に頂いたご支援への感謝であり、JR連合運動への参画、それは今しかないんだ！との思いで参加して、大変な達成感を感じている。充実した一週間だった」と、退職を間近にしても、なお、みなが見習うべき姿勢や行動力を感じる熱い思いをご報告いただいています。



なによりも、熊本、九州地方の早期の復旧復興を願わざるを得ません。この後もJR連合の仲間とともに、震災からの早期復興をめざして組合員一丸となって取り組んでいきます。



震災復興へむけて団結！今こそ、この熱い思いを我われの運動につなげよう！